

2021年米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会において がん領域ポートフォリオのデータを発表

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、2021年6月4日から8日にかけて開催される2021年米国臨床腫瘍学会(American Society of Clinical Oncology: ASCO)年次総会において、がん領域ポートフォリオにおけるデータを発表します。

アステラス製薬は、3つの製品と1つの開発候補品に関して、尿路上皮がん、前立腺がん、急性骨髄性白血病(Acute myeloid leukemia: AML)、胃腺がん・食道胃接合部(Gastroesophageal Junction: GEJ)腺がんなどの難治性がんに対する治療の選択肢拡大につながる12の演題を発表する予定です。主な発表は以下の通りです。

- 進行性尿路上皮がん患者を対象としたエンホルツマブ ベドチンの第III相EV-301試験におけるQOL(生活の質)の調査結果、EV-201試験コホート2における有効性および安全性の最新解析データ、および、エンホルツマブ ベドチンとペムブロリズマブを併用したEV-103試験の持続性および長期アウトカムの最新データ
- 進行性前立腺がん治療における人種差、および進行性前立腺がん患者のリアルワールドにおける治療パターンに関する研究
- 再発または難治性のFLT3遺伝子変異陽性AML患者を対象にギルテリチニブを評価した第III相ADMIRAL試験のフォローアップデータ
- Claudin18.2陽性の局所進行性または転移性胃腺がんおよび食道胃接合部腺がん患者を対象にゾルベツキシマブとmFOLFOX6の併用を評価した第II相試験のデータ

エンホルツマブ ベドチン

演題	筆頭著者	発表形式および抄録番号
Enfortumab vedotin in cisplatin-ineligible patients with locally advanced or metastatic urothelial cancer who received prior PD-1/PD-L1 inhibitors: An updated analysis of EV-201 Cohort 2	B. McGregor	発表形式:ポスター 抄録番号:4524
Study EV-103: Update on durability results and long-term outcome of enfortumab vedotin + pembrolizumab in first line locally advanced or metastatic urothelial carcinoma (la/mUC)	T. Friedlander	発表形式:ポスター 抄録番号:4528
Quality of life, functioning, and symptoms in patients with previously treated locally advanced or metastatic urothelial carcinoma from EV-301: A randomized phase 3 trial of enfortumab vedotin vs chemotherapy	R. Mamtani	発表形式:ポスター 抄録番号:4539
KEYNOTE-B15/EV-304: Randomized phase 3 study of perioperative enfortumab vedotin plus pembrolizumab versus chemotherapy in cisplatin-eligible patients with muscle-invasive bladder cancer (MIBC)	C. Hoimes	発表形式:ポスター 抄録番号:TPS4587
Opioid use in locally advanced or metastatic urothelial carcinoma patients and matched non-cancer controls	S. Grewal	発表形式:抄録掲載のみ 抄録番号:e16517

エンザルタミド

演題	筆頭著者	発表形式および抄録番号
The efficacy of enzalutamide (ENZA) plus androgen deprivation therapy (ADT) on bone oligometastatic hormone-sensitive prostate cancer: A post hoc analysis of ARCHES	A. Armstrong	発表形式:ポスター 抄録番号:5071
Real world first-line (1L) treatment patterns in patients (pts) with metastatic castration-sensitive prostate cancer (mCSPC) in a U.S. health insurance database	U. Swami	発表形式:ポスター 抄録番号:5072

Real-world utilization of advanced therapies and racial disparity among patients with metastatic castration-sensitive prostate cancer (mCSPC): A Medicare database analysis	S. Freedland	発表形式:ポスター 抄録番号: 5073
Real-world treatment patterns among patients diagnosed with metastatic castration-sensitive prostate cancer (mCSPC) in community oncology settings	D. George	発表形式:ポスター 抄録番号: 5074

ギルテリチニブ

演題	筆頭著者	発表形式および抄録番号
Follow-up of patients with <i>FLT3</i> -mutated R/R AML in the phase 3 ADMIRAL trial	A. Perl	発表形式:ポスター 抄録番号:7013

ゾルベツキシマブ

演題	筆頭著者	発表形式および抄録番号
Phase 2 study of zolbetuximab plus mFOLFOX6 in claudin 18.2-positive locally advanced or metastatic gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma (G/GEJ): ILUSTRO cohort 2	S. Klempner	発表形式:抄録掲載のみ 抄録番号:e16063
Effect of ethnicity and chemotherapy (mFOLFOX6) on zolbetuximab pharmacokinetics in patients with claudin 18.2+ locally advanced or metastatic gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma (G/GEJ)	K. Lee	発表形式:抄録掲載のみ 抄録番号:e16078

2021 年米国臨床腫瘍学会年次総会の抄録は [ASCO Meeting Library](#) でご覧いただけます。

以上

エンホルツマブ ベドチンに関するアステラス製薬と Seagen 社のコラボレーションについて

アステラス製薬は Seagen 社と全世界でエンホルツマブ ベドチンを共同開発しています。Seagen 社は、米国以外の南北アメリカにおいて、製品化にかかわる活動および規制当局への薬事申請に責任を負っています。アステラス製薬は、南北アメリカ以外において、製品化にかかわる活動および規制当局への薬事申請に責任を負っています。

アステラス製薬と Seagen 社は、治療歴のない転移性尿路上皮がん患者を対象に、エンホルツマブ ベドチンと Merck 社のキイトルーダ[®](一般名:ペムプロリズマブ(遺伝子組換え))の併用療法を評価するため、同社と共同開発契約を締結しました。キイトルーダ[®]は、Merck & Co., Inc.の子会社である Merck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

エンザルタミドに関するアステラス製薬と Pfizer 社のコラボレーションについて

アステラス製薬は、Pfizer 社とのグローバル契約の一環として、エンザルタミドを共同で開発・商業化しています。両社は米国でエンザルタミドを共同で商業化しており、アステラス製薬は製造および全世界での追加的な薬事申請を担当するとともに、米国以外でのエンザルタミドの商業化も行っています。

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+[®])の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社
コーポレート・アドボカシー&リレーション部
TEL: 03-3244-3201